

様式第 5 号－ 2（第 1 2 条関係）

## 地域まちづくり推進事業実施報告書

1 事業実施者	団 体 名 未広まちづくり連絡会
2 事業の名称	未広まちづくり推進事業
3 実施期間	令和 4 年 4 月 1 日から 令和 5 年 3 月 3 1 日まで
4 事業内容	<p>未広地域の地域力向上を図るため、未広まちづくり推進協議会の意見が反映された地域活動計画に基づく 4 事業について、各実施団体と連携し、進捗状況を把握しながら必要な調整を行い事業を実施した。</p> <p>1 未広地域活動計画に基づく事業（4 事業）</p> <p>(1) 未広地域交通安全対策事業 (実施団体 未広まちづくり実行委員会)</p> <p>(2) 未広地域活動団体 P R 事業 (実施団体 未広まちづくり実行委員会)</p> <p>(3) 未広ふれあいスポーツクラブ子どもの居場所づくり事業 (実施団体 未広ふれあいスポーツクラブ)</p> <p>(4) 未広見守りネットワーク担い手連携事業 (実施団体 未広見守りネットワーク実行委員会)</p> <p>※事業ごとの詳細は、別紙報告書類のとおり。</p>
5 成果と課題	<p>1 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍ではあったが、各事業とも一定の目的を果たすことができた。（新型コロナ拡大防止の観点から、一部事業では規模の縮小を行った。）</li> <li>・地域の主体的な取組を継続的に実施することで、地域住民の意識向上にも寄与している。</li> </ul> <p>2 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後とも、4 事業を柱としながら、各地域活動が継続できるよう、関係団体との連携を図っていく。</li> </ul>

## 収 支 決 算 書

事業の名称	末広まちづくり推進事業
団体名	末広まちづくり連絡会

1 収入の部 (単位：円)

科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	差 (B - A)	収入内訳
補助金	400,000	308,836	△ 91,164	旭川市地域まちづくり推進事業補助金 (包括型補助金モデル事業) (1) 末広地域交通安全対策事業 79,800円 (2) 末広地域活動団体PR事業 69,151円 (3) 末広ふれあいスポーツクラブ 子どもの居場所づくり事業 150,000円 (4) 末広見守りネットワーク 担い手連携事業 9,885円
参加費	20,000	23,000	3,000	(3) 末広ふれあいスポーツクラブ 子どもの居場所づくり事業 23,000円
負担金	79,600	1,617	△ 77,983	(3) 末広ふれあいスポーツクラブ 子どもの居場所づくり事業 1,617円
合 計	499,600	333,453	△ 166,147	

2 支出の部 (単位：円)

科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	左のうち 補助対象経費	差 (B - A)	支出内訳
※	150,000	79,800	79,800	△ 70,200	(1) 末広地域交通安全対策事業 79,800円
※	70,000	69,151	69,151	△ 849	(2) 末広地域活動団体PR事業 69,151円
※	249,600	174,617	174,617	△ 74,983	(3) 末広ふれあいスポーツクラブ 子どもの居場所づくり事業 174,617円
※	30,000	9,885	9,885	△ 20,115	(4) 末広見守りネットワーク 担い手連携事業 9,885円
合 計	499,600	333,453	333,453	△ 166,147	

※ 事業ごとの詳細は、別紙報告書類のとおり。

地域まちづくり推進事業実施報告書

1 事業実施者	団 体 名 未広まちづくり実行委員会
2 事業の名称	未広地域交通安全対策事業
3 実施期間	令和4年4月1日 から 令和5年3月31日まで
4 事業内容	<p>1 未広3地区における「交通安全啓発のぼり」の一斉掲示</p> <p>(1) 実施内容 未広3地区市民委員会・町内会が連携し、地域全体で一斉に交通安全を呼びかける「のぼり旗」を掲示する。</p> <p>(2) 実施時期 ・秋の交通安全運動期間 (9/21~9/30) ・小中学校の始業式等に合わせた期間 (10日間程度)</p> <p>(3) のぼり旗購入 ・啓発のぼり旗 100枚 (経年により破損したのぼり旗等の交換に対応)</p> <p>2 主要道路における街頭啓発活動</p> <p>(1) 実施内容 未広3地区の住民組織が連携し、国道40号と道道環状1号線との交差点付近において、交通安全旗の旗波を形成する街頭啓発活動を実施する。 (地域住民141人が参加)</p> <p>(2) 実施時期 9/22 (木) に1回 (秋の交通安全運動期間中に実施)</p>
5 成果と課題	<p>1 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・未広地域における交通安全の取組は、各団体が年間の活動予定を共有しており、地域の主体的な取組の一つとして定着している。</li> <li>・未広地域3地区を挙げての交通安全啓発「のぼり」を掲示し、国道40号と道道との交差点での街頭啓発活動を実施し、地域の交通安全に対する意識の高揚に寄与した。</li> </ul> <p>2 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年度、継続した取組を行うことで、交通安全に対する意識啓発につながっていると思われるが、引き続き、各団体間で連携しながら、粘り強く取組を進めていく必要がある。</li> </ul>

## 収 支 決 算 書

事業の名称	未広地域交通安全対策事業
団体名	未広まちづくり実行委員会

1 収入の部 (単位：円)

科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	差 (B - A)	収入内訳
補助金	150,000	79,800	△ 70,200	・旭川市地域まちづくり推進事業補助金
合 計	150,000	79,800	△ 70,200	

2 支出の部 (単位：円)

科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	左のうち 補助対象経費	差 (B - A)	支出内訳
消耗印刷費	120,000	65,034	65,034	△ 54,966	・のぼり代 63,610円 ・封筒代 1,424円
食糧費	12,000	10,205	10,205	△ 1,795	・街頭啓発活動 お茶代 10,205円
使用料	3,000	0	0	△ 3,000	
手数料	2,500	2,500	2,500	0	・道路使用許可手数料 2,500円
保険料	12,500	2,061	2,061	△ 10,439	・ボランティア行事用保険料 2,061円
合 計	150,000	79,800	79,800	△ 70,200	

地域まちづくり推進事業実施報告書

1 事業実施者	団 体 名 未広まちづくり実行委員会
2 事業の名称	未広地域活動団体PR事業
3 実施期間	令和4年4月1日から 令和5年3月31日まで
4 事業内容	<p>未広地域で活動する様々な団体を紹介するため、次のとおりPRチラシを作成・配付した。</p> <p>1 チラシの概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サイズ A4サイズ (両面印刷・カラー), 1枚</li> <li>・発行 令和4年6月 (第7号), 令和4年9月 (第8号), 令和4年12月 (第9号), 令和5年3月 (第10号)</li> <li>・作成枚数 各4,500枚</li> </ul> <p>2 主な配布先等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・未広地域 (未広中央, 未広, 未広東地区市民委員会) 各町内会で回覧</li> <li>・主要施設 (未広地区センター, あつまーる, 未広公民館) に配置</li> <li>・各小中学校 (未広地域の6校) で配布</li> <li>・掲載協力団体へ配布</li> </ul>
5 成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 成果                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・未広地域の各種活動団体の活動を紹介したチラシを, 全町内会で回覧するとともに, 各小中学校等で配布することで, より広く住民に対する周知をすることができた。</li> </ul> </li> <li>○ 課題                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・未広地域で活動する一部の団体について, 段階的に活動状況を紹介することができたが, その他の活動団体も多数存在するため, 引き続き, 取組を続ける必要がある。</li> </ul> </li> </ul>

## 収 支 決 算 書

事業の名称	未広地域活動団体PR事業
団体名	未広まちづくり実行委員会

1 収入の部 (単位：円)

科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	差 (B - A)	収入内訳
補助金	70,000	69,151	△ 849	旭川市地域まちづくり推進事業補助金
合 計	70,000	69,151	△ 849	

2 支出の部 (単位：円)

科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	左のうち 補助対象経費	差 (B - A)	支出内訳
消耗印刷費	65,000	69,151	69,151	4,151	・PRチラシ印刷代 69,151円
食糧費	2,000	0	0	△ 2,000	
使用料	3,000	0	0	△ 3,000	
合 計	70,000	69,151	69,151	△ 849	

地域まちづくり推進事業実施報告書

1 事業実施者	団 体 名 未広ふれあいスポーツクラブ
2 事業の名称	未広ふれあいスポーツクラブ子どもの居場所づくり事業
3 実施期間	令和 4 年 4 月 1 日から 令和 5 年 3 月 31 日まで
4 事業内容	<p>放課後の子ども達が安全に過ごせる居場所を定期的に開設し、学習支援・スポーツ文化活動の機会を提供した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施回数 17回 コロナの影響により計画の7割程度の実施 (4/8・5/27・6/10・6/24・7/8・7/22・9/9・9/23・10/14・10/28・12/23・1/13・1/27・2/10・2/24・3/10・3/24)</li> <li>・実施時間 15:00～18:00</li> <li>・実施場所 未広地域活動センター「あつま～る」</li> <li>・対象者 未広地域の小学生</li> <li>・参加人数 延べ 196名</li> <li>・内 容 学習支援……宿題, 家庭学習, お楽しみプリント, 工作等 スポーツ活動…ヘキサスロン, カーリンコン, ボッチャ, スポーツ鬼ごっこ, Nチャレンジ, ドッジボール, レク式体力チェック他 お便り発行……あつま～るkids! だより7～9号 参加者の様子, お知らせなど</li> </ul>
5 成果と課題	<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツでは, 異学年の交流で低学年への思いやりがみられ, 子ども達の成長に好影響を及ぼした。</li> <li>・学習面では, 宿題等を積極的に取り組む姿勢がみられた。</li> <li>・ロコミで参加の広がりみられた (4小学校) 未広地域活動センターとの合同企画【あつま～る】de 運動会へとつながる</li> </ul> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多学年で行うスポーツの工夫など, 参加者にとって魅力的な場とする。</li> <li>・平日の午後の開催であり, スタッフの安定的確保</li> <li>・補助金のみでは運営が難しくクラブ負担金で対応 (補助金の増額を要望)</li> </ul>

## 収 支 決 算 書

事業の名称	末広ふれあいスポーツクラブ子どもの居場所づくり事業
団体名	末広ふれあいスポーツクラブ

1 収入の部

(単位：円)

科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	差 (B - A)	収入内訳
負担金	150,000	150,000	0	・旭川市地域まちづくり推進事業補助金
参加費	20,000	23,000	3,000	・参加費一人当たり年間1,000円×23人
クラブ負担金	79,600	1,617	△ 77,983	・末広ふれあいスポーツクラブ自己負担金
合 計	249,600	174,617	△ 74,983	

2 支出の部

(単位：円)

科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	左のうち 補助対象経費	差 (B - A)	支出内訳
謝礼	110,000	79,000	79,000	△ 31,000	・学習支援 1000円×52名=52,000円 ・スポーツ 500円×54名=27,000円
消耗印刷費	55,000	23,597	23,597	△ 31,403	・チラシ ・kidsたより印刷 ・消毒品・教材費
会場使用料	61,600	42,540	42,540	△ 19,060	4月1回 5月1回 6月2回 7月2回 8月中止 9月2回 10月2回 11月中止 12月1回 1月2 回 2月2回 3月2回 計17回
保険料	23,000	29,480	29,480	6,480	・参加者用保険料 800円×27人=21,600円 ・ボランティア保険350円×20人= 7,000円 ・振込手数料 220円×4回=880円
合 計	249,600	174,617	174,617	△ 74,983	

地域まちづくり推進事業実施報告書

1 事業実施者	団 体 名 末広見守りネットワーク実行委員会
2 事業の名称	末広見守りネットワーク担い手連携事業
3 実施期間	令和4年4月1日から 令和5年3月31日まで
4 事業内容	<p>1 末広地区見守り研修の実施</p> <p>開催日 令和5年2月26日(日) 13時から15時                  場 所 末広地区市民センター 大ホール                  概 要 大分大学福祉健康科学部 講師 齋藤 建児氏を講師に迎え、「見守りの責任を考えるー見守る・見守られる双方の関係構築に向けてー」と題した講演の後、参加者を5人程度に分け、そのグループ内で意見交換を行った。                  参加者 33名                  ※町内会、地区社協、民児協など、見守り活動を行う団体から参加を募った。</p> <p>2 末広見守りネットワーク(会議) 2回開催                  (第1回)                  開催日:令和4年12月19日                  場 所:末広公民館                  参加者:7名                  内 容:令和4年度 末広地区「見守り研修」について                  (第2回)                  開催日:令和5年3月22日                  場 所:末広公民館                  参加者:8名                  内 容:末広地区「見守り研修」の振り返りについて                  令和5年度事業の方向性について</p>
5 成果と課題	<p>○ 成果</p> <p>昨年度より参加対象者を広げたこともあり、見守り活動を実際に行っている方が多く参加できた。                  また、コロナ禍で見守り活動や活動団体間の交流が難しい時期が続く中、講演後に様々な団体の構成員との間で意見交換を行うことができた。</p> <p>○ 課題</p> <p>令和3年度から開始した事業であり、末広見守りネットワークの知名度が高くないことから、団体の目的や活動についての広報が必要である。                  また、活動を行っている方から、見守り活動の具体例についての研修開催の希望があり、来年度はグループワーク中心の研修を含め、内容の検討を進めていく。</p>

## 収 支 決 算 書

事業の名称	未広見守りネットワーク担い手連携事業
団体名	未広見守りネットワーク実行委員会

1 収入の部 (単位：円)

科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	差 (B - A)	収入内訳
補助金	30,000	9,885	△ 20,115	旭川市地域まちづくり推進事業補助金
合 計	30,000	9,885	△ 20,115	

2 支出の部 (単位：円)

科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	左のうち 補助対象経費	差 (B - A)	支出内訳
消耗印刷費	6,000	0	0	△ 6,000	
謝礼	15,000	0	0	△ 15,000	
食糧費	2,000	1,725	1,725	△ 275	・会議用お茶代 <span style="float: right;">1,725円</span>
通信運搬費	2,000	0	0	△ 2,000	
使用料	5,000	8,160	8,160	3,160	・会議用会場使用料 <span style="float: right;">1,760円</span> ・未広「見守り」研修会場使用料 <span style="float: right;">6,400円</span>
合 計	30,000	9,885	9,885	△ 20,115	

地域まちづくり推進事業実施報告書

1 事業実施者	団 体 名 しらさぎ町内会除雪サポーター委員会
2 募集区分	<input type="checkbox"/> <u>子どもの居場所づくり事業 (子育て支援部子育て支援課)</u> <input checked="" type="checkbox"/> <u>地域お助け隊事業 (福祉保険部福祉保険課)</u>
3 事業の名称	しらさぎ町内会除雪サポーター事業
4 事業内容	しらさぎ町内会除雪サポーター 15名 27戸に実施 ①除雪に苦慮する高齢者等の自宅通路の除雪支援 ②依頼者と除雪サポーターを繋ぎ、作業内容の打合せ ③除雪作業等の際、依頼者・近隣の方との交流により、安心安全な地域づくりの一環としての町内の見守り ※除雪実施時間を記録し、月毎に相応の報酬を依頼者から除雪サポーターへ支払う有償ボランティアの仕組みで実施。
5 事業期間	令和4年11月18日 から 令和5年3月31日まで
6 成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果                      除雪に苦慮する高齢者等の自宅通路の除雪支援を実施でき、作業中に依頼者や近隣の町内会員の方との交流により、安心安全な地域づくりの一環となる町内の見守り活動につなげることができた。</li> <li>・課題                      コロナ禍で町内活動が縮小する中、朝の挨拶や会話から町内のコミュニティーの形成に役立った。</li> <li>・課題                      除雪サポーターの担い手自体が高齢化しており、事業の継続すら危ぶまれる状況です。今後も、新規サポーターの勧誘等を進めたい。</li> </ul>

## 収 支 決 算 書

事業の名称	しらさぎ町内会除雪サポーター事業
団体名	しらさぎ町内会除雪サポーター委員会

1 収入の部 (単位：円)

科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	差 (B - A)	収入内訳
負担金	100,000	99,948	△ 52	地域まちづくり推進事業負担金
事業対象外 経費	0	△ 3,064	△ 3,064	
合 計	100,000	96,884	△ 3,116	

2 支出の部 (単位：円)

科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	左のうち 補助対象経費	差 (B - A)	支出内訳
消耗品費	100,000	99,948	96,884	△ 3,116	作業用品 87,374円 携帯カイロ 6,637円 プリンタインク 4,975円 コピー用紙 962円      計 99,948円
合 計	100,000	99,948	96,884	△ 3,116	